

平成18年9月28日
統計部公表

平成18年産水稻の作付面積及び9月15日現在 における作柄概況

(埼玉県)

- 作況指数は95の見込み -

【調査結果の概要】

- 1 埼玉県における平成18年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は3万7,300 haで、前年産並みである。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、作況指数95で、10a当たり収量は471kgが見込まれる。

作柄表示地帯別の作況指数



作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率である。
調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、
今後の気象条件により作柄は変動することがある。

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。
【http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0928suitou_s/suitou-0915_s.xls】
本統計の目的などは、【調査の仕様】P5に掲載しています。

【解 説】

- 1 作付面積
 水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は3万7,300haで、前年産並みである。
- 2 作柄概況
 - （1）出穂は、日照不足に加え7月後半の低温により、平年に比べ2日遅れとなった。
 - （2）全もみ数は、1穂当たりもみ数は「多い」ものの、特に穂数が「少ない」ことから、平年に比べ「やや少ない」となった。
 - （3）登熟は、登熟期の気温日較差がおおむね平年並みに推移していることから、「平年並み」が見込まれる。
- 3 被害
 被害は、日照不足等の気象被害が多く、また、病害及び虫害も平年に比べやや多い発生となった。
- 4 以上のことから、作況指数は95で、10a当たり収量は471kgが見込まれる。
 なお、作柄表示地帯別の作況指数は、東部96、西部93が見込まれる。

【統計表】

1 作付面積及び10a当たり（予想）収量・作況指数

区 分	作付面積 (青刈り面積含む) ha	10a当たり (予想) 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg	作況指数	前 年 産 と の 比 較		
					作 付 面 積		10a当たり 収 量
					対 差	対 比	対 比
	ha	kg	kg		ha	%	%
県 計	37 300	471	495	95	100	100	95
東 部	24 600	488	506	96	0	100	97
西 部	12 700	439	474	93	100	100	93

注：表中の「」は、減少したものを示す。

2 出穂期及び刈取済み面積割合

区 分	出 穂 期					9月15日現在 における 刈取済み 面積割合 %
	始 期	最 盛 期	終 期	最 盛 期 の 遅 速		
				平 年 比 較	前 年 比 較	
	月 日	月 日	月 日			
県 計	7.28	8.14	8.30	2日遅	4日遅	24
東 部	7.27	8.12	8.29	2日遅	4日遅	35
西 部	8. 6	8.18	8.31	2日遅	3日遅	4

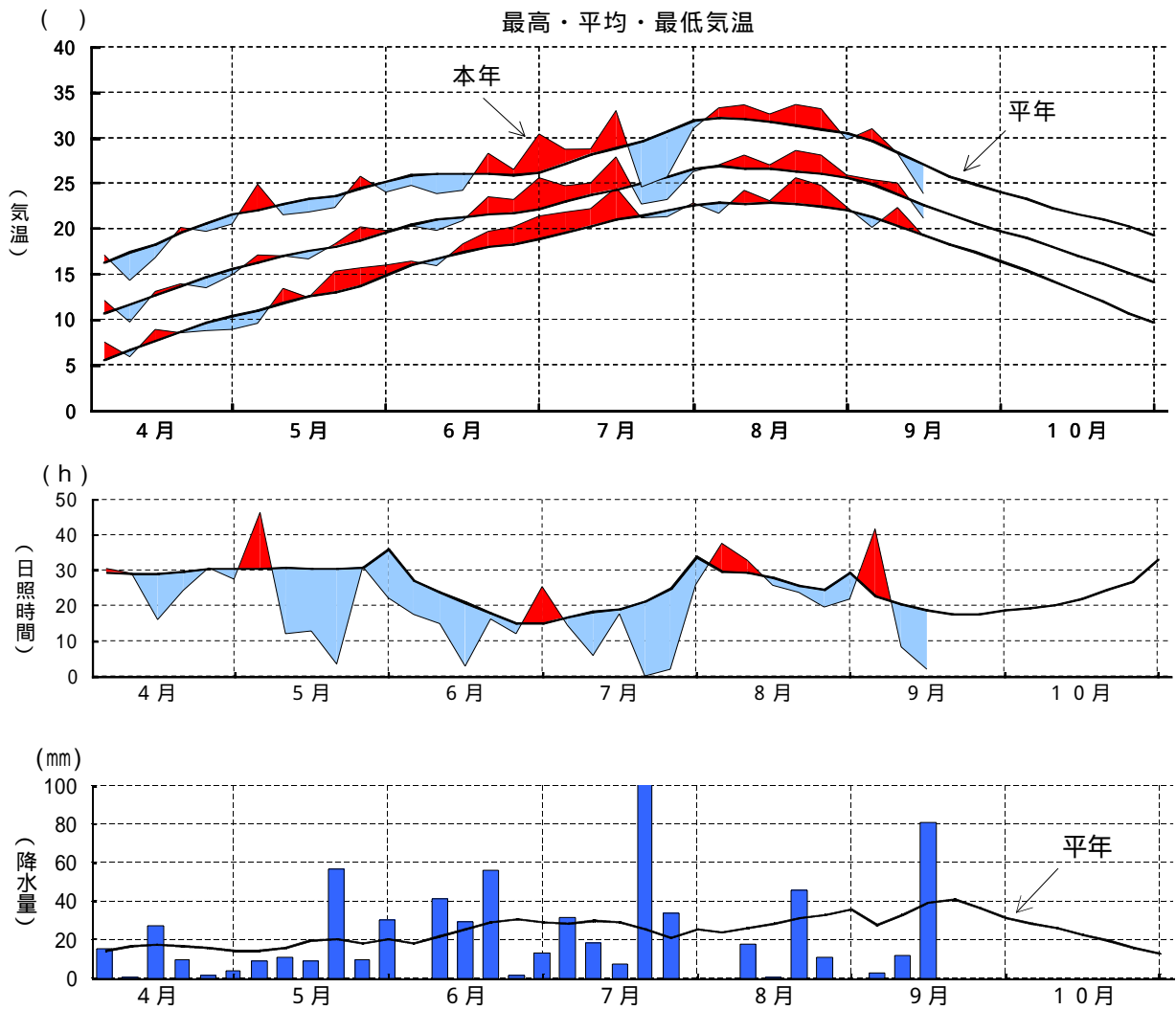
注： 出穂期の始期は、出穂済み面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

3 作況指数及び作柄概況

区分	作況指数	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多 少	全もみ数の多 少	登熟の良否
県計	95	少ない	多い	やや少ない	平年並み
東部	96	少ない	多い	やや少ない	平年並み
西部	93	少ない	多い	少ない	平年並み

【関連するデータ】

平成18年 半旬別の気象（熊谷）



(資料：熊谷地方気象台)

東部 _____
 西部 _____
 県平均 _____

は種最盛期 田植最盛期 出穂最盛期

水稻（子実用）の年次別推移（埼玉県）

年 産	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	ha	kg	t		kg
昭 . 40	78 300	328	256 800	91	360
41	78 200	322	251 800	90	358
42	78 100	336	262 400	95	354
43	77 400	368	284 800	105	350
44	76 600	369	282 700	105	350
45	68 900	368	253 600	105	350
46	61 200	347	212 400	97	356
47	60 700	396	240 400	111	356
48	60 200	401	241 400	110	363
49	63 000	361	227 400	97	371
50	63 000	417	262 700	112	371
51	62 900	404	254 100	106	380
52	62 400	391	244 000	101	388
53	56 100	404	226 600	102	395
54	54 300	394	213 900	100	395
55	55 200	378	197 300	96	395
56	49 400	381	188 200	95	402
57	48 400	330	159 700	82	402
58	48 800	361	176 200	90	402
59	49 400	452	223 300	112	402
60	49 400	449	221 800	111	405
61	48 400	434	210 100	106	410
62	45 300	478	216 500	115	414
63	44 400	427	189 600	101	421
平 . 元	43 900	457	200 600	107	427
2	43 300	466	201 800	108	433
3	42 600	459	195 500	105	437
4	42 700	470	200 700	106	442
5	42 800	413	176 800	93	446
6	44 300	495	219 300	111	446
7	42 800	486	208 000	108	450
8	40 000	515	206 000	113	454
9	39 600	494	195 600	107	463
10	37 500	450	168 800	96	470
11	37 500	481	180 400	100	481
12	37 300	494	184 300	101	489
13	36 800	488	179 600	100	489
14	36 700	482	176 900	98	493
15	36 700	464	170 300	94	493
16	37 300	529	197 300	107	493
17	37 300	494	184 300	100	495

【調査の仕様】

1 調査目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の内の作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。
なお、県内における作柄表示地帯の区分は以下のとおりである。

区分	市	町	村
東 部	さいたま市、川口市、鴻巣市、上尾市、草加市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、伊奈町、行田市、加須市、羽生市、騎西町、北川辺町、大利根町、春日部市、越谷市、久喜市、八潮市、蓮田市、宮代町、白岡町、菖蒲町、三郷市、幸手市、吉川市、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町		
西 部	川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、三芳町、毛呂山町、越生町、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、本庄市、美里町、神川町、上里町、熊谷市、深谷市、江南町、寄居町		

3 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：9月15日現在

4 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員の実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめた。
- (2) 作柄概況調査
調査は、作況標本筆及び作況基準筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめた。

5 調査客体数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：975単位区 巡回・見積り：71市町村
- (2) 作柄概況調査
作況標本筆：180筆 作況基準筆：41筆 巡回・見積り：71市町村

6 用語の解説

- (1) 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。
- (2) 平年比較は、過年次の作況標本筆結果から作成した平年値と本年の調査結果を比較したものである。

ア 「穂数の多少」は、1㎡あたりに出穂したすべての穂数が平年と比較して多いか少ないかを表している。

イ 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているもみの数が平年と比較して多いか少ないかを表している。

ウ 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表している。

エ 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表している。

オ 作柄概況の多少（良否）の区分は下表のとおりである。

多少 (良否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

(3) 10a当たり平年収量とは、作物の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

7 利用上の注意

(1) 作柄概況調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

(2) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)	2けた		1けた	四捨五入しない
例				
四捨五入する前	123 456	12 345	1 234	123
四捨五入した数値	123 500	12 300	1 230	123

本統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。
 アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】
 又は、関東農政局トップページ 統計データ 平成18年

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部生産流通消費統計課
 生産統計第2係

電 話：(代表)048(600)0600 内線3631

(直通)048(740)0588

担当者：風神・関口

農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電 話：(代表)048(600)0600 内線3613

(直通)048(740)0575